

総務産業建設

◆上下水道課

問 浄化センターは、長寿命化計画で進捗していると考えますが、これからの年次計画については、何かあるのか。

答 浄化センターの更新工事は昨年度で終了した。今後は、マンホール等の補修と管路の補修が考えられる。

問 災害対策における浄水場についての考え方はあるのか。
答 老瀬浄水場と竹鳩浄水場で災害時のリスクを分担するように考えている。老朽化に伴う計画に合わせて今後考えていきたい。

◆農業政策課

問 一ツ瀬川雑用水は、これからも利用者が増加するののか。
答 利用者は増加しない。

問 管理事業特別事業会計は、畑かんの無断使用を是正する事業のため。

◆総務課

問 固定資産税の不服申立はないとのことだが、問題を抱えている方々はたくさんいるのではないのか。
答 今まで申し立てがないので、納得し理解されているものと考ええる。

◆地域政策課

問 宮崎キャンノンについては、費用対効果の点で、いくつか確認されたのか。
答 宮崎キャンノン操業以降に産業連関表を作成し、誘致活動の費用対効果を明確な数字で出したい。

文教厚生

◆健康保険課

問 国保税算定について激変緩和とは。
答 平成28年度の一人あたりの税の伸びが県が示す5%を超えた市町村に対して、平準化を図る意味で調整される金額とのこと。

問 特定健診の受診率はどうか。
答 41・1%だったのが48・6%に上がった。目標は55%にしている。

問 後期高齢者医療について、温泉無料券は当初の12枚に戻してほしいとの要望があるが。
答 町単独で行っている事業であり、これ以上の負担は難しい。

問 介護保険会計予算について、基金繰入が4000万円強あるが、残りはいくらか。
答 約2600万円である。

※ 介護にかかる費用負担は、国、県、町の負担が50%、65歳以上の方が負担する保険料が23%、40歳から64歳までの方が27%の負担であるとの説明があった。



めいりんの湯

特別委員会審査

一般会計予算特別委員会

◆財政経営課

問 予算編成するにあたり、各課からの当初予算は要求金額どおりか。
答 全てが要求どおりというわけではない。

◆地域政策課

問 地域おこし協力隊員の有機栽培及び特別栽培推進業務とは何か。
答 有機栽培の指導ができる外部の人材を採用し、ロールモデルとなる農家の方達を増やしていきたい。

◆農業政策課

問 農産物加工場についての使用料は主にどんなものが多いのか。
答 コイン精米機使用料が最も多い。

◆農業委員会

問 農業者年金加入者は。
答 年金加入者旧法は139名、新法で32名、受給待機者42名である。

◆税務課

問 新築家屋の固定資産算定の基準は。
答 国が定める単価表を基準とし算定している。

◆町民生活課

問 不害虫駆除の内容は昨年と同じなのか。
答 過去3年間の実績を踏まえ、安価で効果が見込めるものを使用することとした。

◆総務課

問 防犯灯の設置について早めてもらう要望はあるのか。
答 順番は決まっており、緊急性や要望があれば検討していく。

◆上下水道課

問 合併浄化槽に関して、管理費の調査はしているのか。
答 保守点検、清掃、法定検査、電気料で年間47、550円程度となる。

◆建設管理課

問 公園の樹木の管理はどの業者が行っているのか。
答 大きな公園は専門業者が、比較的小さい公園はシルバー人材センターが管理している。

◆社会教育課

問 たかしんホールでのプロの演奏企画はできないのか。
答 社会教育法で営利目的での事業は禁止されている。

◆教育総務課

問 体育授業サポート派遣者が指導を行う範囲は。
答 学習指導要領に示されている内容で行う。

◆健康保険課

問 障がい者を持つ子どもの早期発見はできているのか。
答 気になる子どもは精密検査を受診していただく。

◆福祉課

問 手話奉仕員は現在何名いるのか。
答 県内で53名、高鍋町は現在5名である。

◆子育て

問 子育て応援フェスティバルの企画は。実績では赤ちゃんハイハイ競争、食育三輪車競争、パトカーの試乗など行っている。